

製品名: リン酸化ヒストン H2A.X (Ser139) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe84926

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 15 kDa; Observed MW: 15 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-Histone H2A.X (Ser139)
別名	H2A.X; H2AFX; H2a/x; HIST5-2AX; Histone H2A.X; gamma H2A.X
遺伝子 ID	3014.0
SwissProt ID	P16104
免疫原	ヒト γ H2A.X の Ser139 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

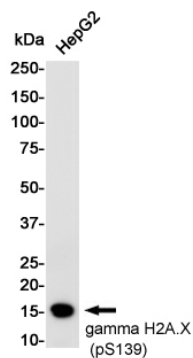
ヌクレオソームのサブセットにおいて、従来のヒストン H2A を置換する変異ヒストン H2A。ヌクレオソームは DNA をクロマチンに

包み込み、凝縮することで、DNA を鋳型として必要とする細胞機構への DNA のアクセスを制限します。これにより、ヒストンは転写制御、DNA 修復、DNA 複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。

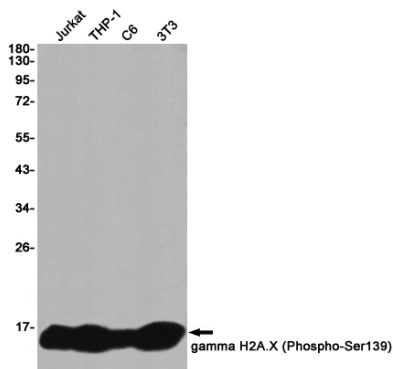
研究分野

-

画像データ



リン酸化ヒストン H2A.X (Ser139) 抗体を使用した HepG2 溶解物中のガンマ H2A.X (Phospho-Ser139) のウエスタンブロット分析。



ガンマ H2A.X (リン酸化 Ser139) 抗体を使用した、Jurkat、THP-1、C6、3T3 溶解物中のガンマ H2A.X (リン酸化 Ser139) のウエスタンブロット分析。